

○秋田県内の広葉樹を原料とした椎茸を生産。廃棄される菌床を加工したカブトムシ飼育事業や、カブトムシの排泄物を肥料として活用したホウレンソウ生産事業を展開するなど、地域資源を活用したサーキュラーエコノミーを確立。

## 基本情報

- 所在地：秋田県横手市
- 選定表彰：
  - ・秋田県種苗交換会 壱等賞・秋田県知事賞及び秋田県市長会会長賞（R4）
- 主力商品・イベント：
  - ・農林水産物（椎茸、ほうれん草等）
  - ・菌床
  - ・昆虫（カブトムシ、クワガタムシ）
- 活用した支援施策：
  - ・産地パワーアップ事業（R1）

## 取組の概要

- 日本一美味しい椎茸づくりを目指し、菌床製造から一貫して椎茸を生産。菌床の材料には秋田県内の広葉樹のみを使用し、地下からくみ上げる深層水を用いて徹底した温度・湿度管理を実施。
- 廃棄となる菌床を加工し、カブトムシの幼虫の餌として販売するとともに、自社飼育したヘラクレスオオカブトを販売。幼虫の飼育セットは、横手市のふるさと納税返礼品として採用。
- 幼虫の成長過程で排出される排泄物を有機肥料に加工し、市内の大規模園芸団地と連携し、ホウレンソウ等の野菜生産に活用。



菌床椎茸「鱗花（りんか）」

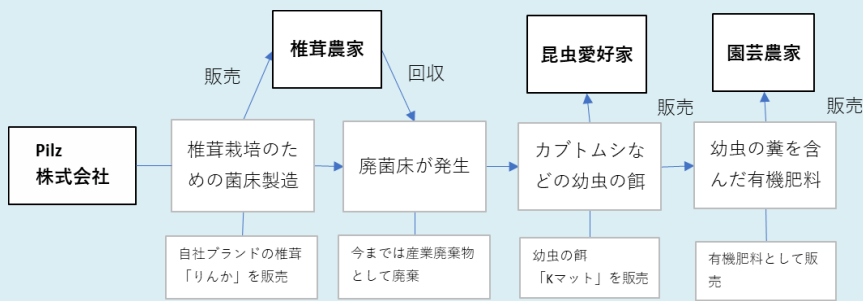


ヘラクレスオオカブト



ホウレンソウ

## 体制図



## 取組の成果

- 売上
 

	: 0.2億円 (R3)	→	1.6億円 (R4)
〔うち 農林水産物等	0.2億円 (R3)	→	1.3億円 (R4)
菌床	0億円 (R3)	→	0.2億円 (R4)
昆虫	0億円 (R3)	→	0.2億円 (R4)
- 雇用：15人 (R3) → 20人 (R4)

ウェブサイト▶<https://pilz-corp.com/>

- 高齢化が進む地域で棚田を再生するために、複数の組織が協定を結び活動を開始。棚田米のブランド化により作付けを年々拡大するとともに、地域企業等と連携したイベント活動の実施を通じて、地域のにぎわいと人の交流を創出。

## 基本情報

- 所在地：山形県山辺町
- 選定表彰：
  - ・第8回「ディスカバー農山漁村の宝」(R3)
  - ・日本の棚田百選、つなぐ棚田遺産(農林水産省)
- 主力商品・イベント：
  - ・棚田米
  - ・農作業体験
  - ・スポーツ、音楽イベント
- 活用した支援施策：
  - ・中山間直接支払交付金(H23)
  - ・多面的機能支払交付金(H29)
  - ・中山間ふるさと・水と土保全推進事業(棚田基金)(R4)

## 取組の概要

- 日本の棚田百選にも選ばれた「大蕨の棚田」を再生し、地域の活性化を図るため、平成23年にプロジェクトをスタート。
- 地元の生産者組織が中心となり、田植えや稲刈り、稲杭掛け等の作業を請け負う一方、地元企業、JA、大学が、コンサートやライトアップイベントなど、棚田を活用した交流イベント等を実施。
- 昔ながらの刈り取った稲を自然乾燥して生産する「大蕨棚田米」は、ハレの日に食べる米としてブランドイメージが定着しつつあり、カタログギフトの商品としても採用。「モンテ棚田米」、「山響棚田米」のコラボ商品も展開。



棚田コンサート/山形交響楽団

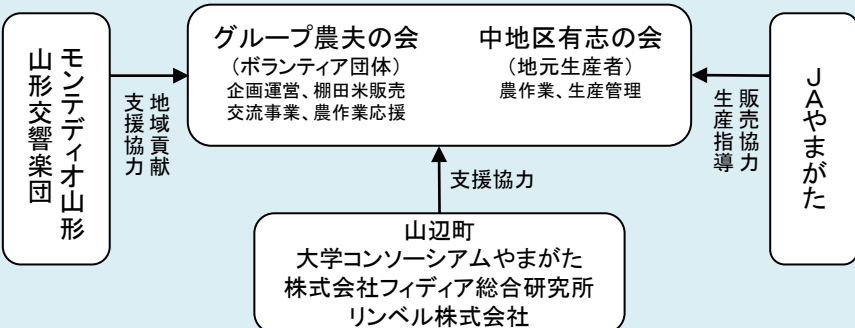


棚田米稲刈り



大蕨棚田米、モンテ棚田米、山響棚田米

## 体制図



## 取組の成果

- 耕作面積 : 0.4ha (H23) → 2.6ha (R5)
- 棚田米生産量 : 1.9t (H23) → 8.6t (R5)
- グループ農夫の会会員数 : 61人 (H28) → 98人 (R5)
- オリジナル商品販売数 : 868袋 (H23) → 4,656袋 (R5)
- コンサート来場者数 : 55人 (H29) → 120 (R5)

ウェブサイト▶ <https://www.group-nofunokai.jp/index.html>



- 直売所、旬の果物をスイーツとして提供する農家カフェを運営するとともに、夜間の来客誘致に向け、メディア等と連携した「夜の果樹園」イベントを実施し、売上げ増や雇用の創出を実現。

### 基本情報

- 所在地：福島県飯坂市
- 選定表彰：
  - ・未来につながる持続可能な農業推進コンクール生産局長賞（R3）
- 主力商品・イベント：
  - ・果物狩り（さくらんぼ、もも、りんご、ぶどう、なし等）
  - ・果物加工品（リンゴジュース、あんぽ柿）
  - ・農家カフェ（森のガーデン）
  - ・夜の果樹園
- 活用した支援施策：
  - ・福島県地域産業6次化新商品加工支援事業施設整備（H26）

### 取組の概要

- 40品種以上の果樹を生産し、直売所、観光果樹園を運営するほか、生産した旬の果物を提供する農家カフェを経営。
- GAP認証の取得により、果物の安全性と品質向上、環境への配慮を消費者へアピール。
- 夜間の来客誘致に向け、メディアや写真家、パティシエ等の地元企業からなる「夜の果樹園実行委員会」を立ち上げ、ライトアップされたリンゴ園において、フルーツやピアノの生演奏をする中、果物狩り体験や地域食材を使った料理やフルーツを使ったオリジナルカクテルを提供し、来場者の五感に訴える「夜の果樹園」（数日限定）を実施。



もも狩り



自家製もものパフェ



夜の果樹園

### 体制図

#### (有)まるせい果樹園

生産部門

カフェ部門

観光果樹園

夜の果樹園

福島市観光コンベンション協会

### 取組の成果

- 売上 : 0.75億円 (H26) → 1.6億円 (R5)
  - 〔うち 農家カフェ 100万円 (H28) → 3,500万円 (R5)〕
  - ももパフェ1日最高提供数 約800杯 (R5)
- 夜の果樹園来客者数 : 70人 (H30) → 350人 (R5)
- 雇用者数 : 14人 (H26) → 25人 (R1)

ウェブサイト▶<https://www.maruseifukushima.com/>

- 食品メーカーの農業参入により53haのほ場でかんしょを生産し、菓子加工や飲食店等での販売を実施。
- 廃校も利用した体験型農業のテーマパーク「らぼっぼ なめがたファーマーズヴィレッジ」は観光客増、雇用創出に貢献。

## 基本情報

- 所在地：茨城県行方市
- 選定表彰：
  - ・第56回農林水産祭天皇帝杯（H29）
  - ・関東農政局ディスカバー農山漁村の宝優良事例選定（R1）
- 主力商品・イベント：
  - ・かんしょの加工品
  - ・農業体験イベント・食育
- 活用した支援施策：
  - ・食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備事業（R2）

## 取組の概要

- 1年中季節ごとに楽しめる農業体験型のテーマパークで、地産地消のレストランやマルシェ、「焼き芋ファクトリーミュージアム」による食農教育等のほか、景観を活かし、自然と触れ合えるグランピングを展開。
- 地元JAや生産者、行方市や鹿島アントラーズと連携した農業体験・観光誘致を実施。



かんしょの加工品

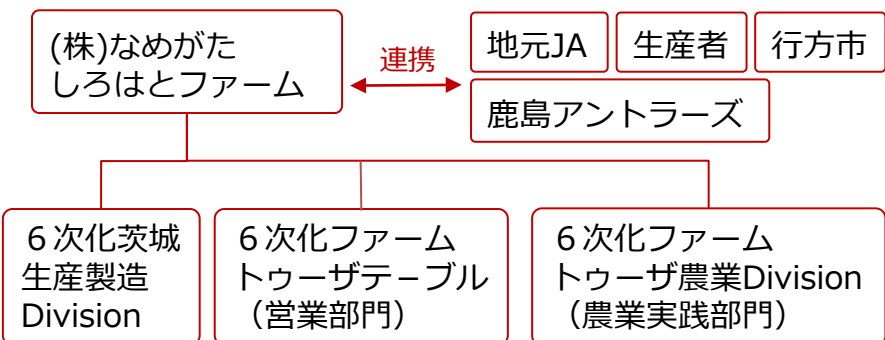


ファームグランピング



農業体験イベントの様子

## 体制図



## 取組の成果

- 従業員：正社員50名の他に、多様な人材からなる地域社員とパート社員を雇用することで、新たな雇用機会を創出。R4は100名。
- 来場者数：15万人（H27）→28万人（R1）（週6日営業）  
現在はコロナ対策のため、土日祝のみの営業

○古民家を活用した宿泊施設やビール醸造所、地産地消のカフェを運営するとともに、農産物の収穫とサイクリングを組み合わせた体験観光事業を実施することにより、地域における新たな価値の創造と関係人口の創出を実現。

### 基本情報

- 所在地：茨城県かすみがうら市
- 選定表彰：
  - ・第10回「ディスカバー農山漁村の宝」(R5)
  - ・新しいいばらきづくり表彰 (R3)
- 主力商品・イベント：
  - ・古民家を活用した農泊
  - ・地元食材を活用した料理の提供
  - ・クラフトビールの醸造
  - ・農業収穫体験
  - ・サイクリング
- 活用した支援施策：
  - ・農山漁村振興交付金（農泊推進対策）(R2)
  - ・ものづくり補助金 (R1)

### 取組の概要

- 空き家だった築110年の元造り酒屋を改修したゲストハウス「古民家江口屋」を運営。
- 宿泊者には、地元食材料理や、地酒・自家製クラフトビールを提供。また、インバウンド向けには、サイクリング&レンコン掘り体験や、霞ヶ浦産の天然うなぎ料理を提供するなど、地域資源を活用した農泊体験プログラムを実施。
- 隣の駅コハン（かすみがうら市交流センター）を運営し、霞ヶ浦産の鯉や白魚等を使った「地産地消とヘルシー」をコンセプトとした料理、季節の果物で作るスイーツを提供するほか、レンタサイクル、イチゴやぶどうの収穫体験と名所を巡るサイクリングを組み合わせた体験観光事業等を運営。



古民家江口屋



レンコン掘り体験



サイクリングの様子

### 体制図

(株) かすみがうら未来づくりカンパニー

宿泊

・古民家江口屋

食事

・古民家江口屋  
・隣の駅コハン

体験

・サイクリング  
・農業収穫体験  
・ビール醸造所見学

その他

・かすみがうら市

### 取組の成果

- 古民家を活用した農泊事業
  - ・売上 : 540万円 (R2) → 1,150万円 (R4)
  - ・宿泊者数 : 480人 (R2) → 1,140人 (R4)
- 隣の駅コハン（かすみがうら市交流センター）事業
  - ・売上 : 4,000万円 (H30) → 5,140万円 (R4)
  - ・来場者数 : 3.1万人 (H30) → 3.5万人 (R4)

ウェブサイト▶ <https://kasumigaura.miraidukuri.jp/>